

平成28年度 第2回学校評議員会 兼 学校関係者評価委員会

日時：平成29年3月13日(月)

午後13時30分～16時00分

会場：佐野高・佐附中 校長室

1 開会

進行：高校教頭

2 学校長挨拶

本日は、お忙しい中ありがとうございます。SGH教育活動は順調にすすんでおり、成果があがっています。忌憚のない御意見をいただき、今後の学校運営に生かしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

3 出席者自己紹介

(略)

4 平成28年度学校評価結果について(説明)

青柳主幹教諭

(1) 保護者アンケート結果

- ・昨年度「国際的に活躍できるグローバルリーダーの育成に取り組んでいる」という質問項目を追加しました。
- ・結果は、昨年度より肯定的な結果となりました。

(2) 授業評価

- ・6月は例年を上回る良好な結果でしたが、11月には例年と同様の結果に戻ってしまいました。

(3) 生徒へのSGHアンケート

- ・ほぼ満足できる結果となりました。
- ・課題設定までに時間がかかることが問題であることがわかりました。

(4) 各部・学年の反省

- ・どの部署でも明確な目標を設定して努力してきました。特に、SGHを見据えた内容を設定して取り組んだ部もありました。

5 協議

司会：校長

(1) 平成28年度学校評価について

校長 保護者アンケート結果において、設備についての評価が低くなっています。来年度、エアコンの増設をすることになりました。夏から運用できる予定です。また、トイレについての記述が目につきます。清潔になるよう、対策を講じたいと思います。

評議員 確かにトイレへの不満が目立つので、改善すべきでしょう。

高 P 特別教室にもエアコンが導入されることを望んでいます。

中 P (質問) 学校評価に書かれている要望には、回答するのですか？

青柳 主な質問事項はPTA会報に掲載しました。回答できる内容は、PTA総会で回答する予定です。

校長 部活動は、中高一貫教育校の利点を生かして、6年間を通して行うという考え方もあり、いずれ実現したい考えもあるのですが、中学と高校では、部活動の在り方や価値観が違うため、難しいところもあります。

評議員 部活動が、指導者不足の状況ではありませんか。保護者や市民へ応援を求めても良いのではないで

しょうか。

校 長 文科省の提言するチーム学校でも、外部人材を活用する考え方があります。確かに、今後は外部指導者を積極的に活用することを考えていく必要があります。現在でも、一部の部活動では外部指導者によるコーチをお願いしています。

中 P (質問) 練習内容を考慮することで、高校と一緒に部活動を行えないでしょうか。

校 長 管理上の問題があり、現時点では難しいと考えています。

評議員 これから、校外での活動がますます増えると思われませんが、その安全管理について考えなければなりません。あまり恐れているは何もできなくなりますが、できるところはしっかり対策しておくべきだと考えます。

校 長 現在でも、かけるべきところには保険をかけていますが、今後整理していきたいと思います。

評議員 SGH教育活動は、生徒も先生方もよく頑張っていて大変喜ばしく思います。他校ではなかなか内容が伴わず苦勞している話も聞きますが、佐野高校は初年度から内容が充実しており、報告もきちんとしているため安心しています。今後、順調に継続していくためには、学校全体で取り組む姿勢をしっかりと作り、中心となる教員の負担を軽減していくことが必要かと思います。いずれにせよ、シンカもCTPも、SGHという柱を得て、意味のあるものになりました。

校 長 (質問) 県南の県立附属中学校は本校だけです。現在は、佐野が6割、足利2割、栃木と小山で2割、倍率はほぼ2.5倍で推移しています。特に小山・栃木方面から受検者を増やしていくには、どのような方策があるでしょうか。

中 P 小山は、宇都宮線を利用して宇都宮東高という考え方があるようです。佐野附属中学校は、十分満足できる中学校だと思しますので、やはり広報活動を充実させていくのが良いのではないのでしょうか。

評議員 新聞をうまく利用して広報に繋がられるといいですね。

評議員 (質問) 教科でのアクティブラーニングとは、どのような授業をするのですか。

高 教 グループで話し合うなど協力して学び合う学習活動を取り入れます。

校 長 大学の教授を招いて講演会を実施するなど、現職教育を行っています。来年度は研究校となるため、組織的かつ積極的に取り組んでいくことになります。

6 事務連絡

7 閉会